

平和を希求する心を育てる取組

報告年月日：2020年2月6日

都市名・国：マンチェスター・イギリス

取組の名称	プロジェクトG(被爆樹木を通じた平和学習)
実施主体 (該当項目に✓)	<input type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> 自治体 <input type="checkbox"/> NGO <input type="checkbox"/> 複合 ( )
テーマ・目的	核軍縮
対象者 (年齢・学年、人数等)	小学校6校
実施場所	マンチェスターの小学校
実施期間	継続中
<p>取組の概要</p> <p>2014年、広島のエチョウの種子14個がマンチェスターに無事到着し、ダナム・マジのナショナル・トラスト庭園で育てられた。これらは2014年に平和首長会議行動計画に基づく取組の一環として平和のシンボルとしてマンチェスターに寄贈され、栽培されたものである。マンチェスターはこの栄誉を与えられたイギリスで最初の都市だった。種子は1945年の広島への原爆投下に耐えたエチョウの木から採取された。</p> <p>2015年初め、広島への原爆投下や戦争からの復興における自然の役割について子どもたちに学んでもらうことを目的に、市は芸術と詩のコンテストを開催した。マンチェスターの参加小学校6校から、120点を超える応募が寄せられた。</p> <p>2017年後半、6校はエチョウの木を受け取り、校庭に植樹した。同年末までに、被爆者2名がエチョウの木を見学に訪れ、原爆が人生に及ぼした影響について子どもたちに語った。この話は全員にとって、身が縮むような体験となった。</p> <p>2018年冬、マンチェスターは広島市から被爆体験伝承者を含む4名をゲストとして迎えた。彼らは子どもたちに被爆者の体験について語り、学校のエチョウの木も訪問した。</p>	
<p>参加者の反応</p> <p>子どもたちはプロジェクトに深く関わり、素晴らしい絵を描いた。被爆者の話に熱心に耳を傾け、広島のそれぞれの被爆者の原爆に対する思いや考えを知ることは本を通して学ぶものよりも一層深い印象を残した。</p> <p>セントマーガレット小学校のプロジェクトGに関する報告書：  <a href="https://www.st-margaretmarys.manchester.sch.uk/news/project-g---a-plan-for-peace/29206">https://www.st-margaretmarys.manchester.sch.uk/news/project-g---a-plan-for-peace/29206</a></p>	
<p>成果</p> <p>参加した小学校の子どもたちはプロジェクトGを通じて多くを学んだ。これらの小学校では、エチョウの木を用いて今後も多くの授業で平和活動や原爆の影響を学ぶ機会があるため、プロジェクトを継続している。</p>	
<p>課題</p>	
<p>取組で使用した素材について</p> <p>エチョウの種子、スライドショー、原爆の伝承者および被爆者との会談</p>	
<p>上記素材の共有の可否</p> <p><input type="checkbox"/>掲載可能(素材を添付してください) <input type="checkbox"/>掲載不可 <input type="checkbox"/>不明</p>	